



なな 市民の友

第763号毎月1回発行

2014年(平成26年)

8月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2014(平成26)年6月末現在	
総人口	322,377(2,565)
男	155,871(1,427)
女	166,506(1,138)
世帯数	143,326(1,443)

発行：那覇市
編集：秘書広報課 ☎862-9942
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
印刷：有限会社サン印刷
配布：那覇市シルバー人材センター

水害の救助に大きな戦力!

津波・大規模風水害対策車

瓦礫(がれき)の上や浸水エリアを走行できる水陸両用バギーを搭載した「津波・大規模風水害対策車」が、今年3月、県内では唯一、本市の消防局に配備されました。



タイヤに深い溝を入れたことで、水中でも水をかいて前に進める

東日本大震災では、大量の瓦礫や広範囲にわたる浸水に阻まれ、救助作業が困難を極めたことから、総務省消防庁が対策車両を開発し、全国15の消防機関に無償貸与しているものです。



重機および重機搬送車

大規模震災時において、瓦礫やコンクリート塊などの障害物の除去や破壊に活躍します。油圧ショベル(重機)のアーム部分には放水口が設置されており、火災危険のある現場では消防ホースを接続して放水を行うことが可能。また、無線リモコンで離れた場所から遠隔操作ができるため、有害ガスが発生している現場や、労働災害、生き埋め事故等の救助現場においても活用できます。



支援車

大規模災害や特殊災害発生時に被災地へ派遣された緊急消防援助隊を支援する車両。車両右側のボディが拡幅する機能を有しており、会議スペースの確保や仮眠場所として活用することができます。また、トイレ、シャワー、固定式小型厨房機器などを装備しています。車両の後方部分は、カーゴコンテナを積載することが可能な資機材の積載スペースとなっています。東日本大震災では、緊急消防援助隊として実際に被災地に派遣され、災害活動の後方支援にあたりました。



災害現場で活躍する はたららく車

災害から人々を守り、暮らしの安全を支える那覇市消防局。あらゆる災害を想定し、さまざまな車両を配備しています。今回は、大規模災害時に現場で活躍する主な消防車両をご紹介します。



お問い合わせ
消防局 総務課 TEL867-0119

主な紙面

- 1 特集 災害現場で活躍するはたららく車
- 2 ヘルストリビューン
- 3 ほけんインフォメーション
- 4 那覇市職員募集/環境トピック/お役所アルある
- 5 ニュース・タイジェスト
- 6 那覇市防災マップ
- 7
- 8 国保限度額証と特定疾病受療証の更新/見守りチャイム隊募集/建物の防火安全表示制度/なは教育の日ポスター・標語の募集
- 9 情報バック
- 10 協働さん/博物館トピックス/うちなーぐちやあじくた
- 11
- 12

水の事故に気をつけよう!!

今年も本格的な夏の行楽シーズンを迎えました。海や川でのレジャーが盛んになることから、水の事故の発生が懸念されます。海や川で遊ぶ時は、次のルールを守って楽しい夏を過ごしましょう。

- 子供だけで泳ぐのはやめましょう(必ず大人と一緒に!)
- 体の調子が悪い時は、絶対に泳がない
- 飲酒して泳がない
- 波が高い時や風が強い時などは、海岸や護岸に近づかない
- 崖や堤防など転落のおそれのある危険な場所には近づかない
- 潮干狩り、釣り、遊泳、ボート等に乘るときは、ライフジャケットを着用する

水難事故が発生したときは、無理に自分だけで助けようとせず、まわりに助けを求めるとともに、消防や警察、海上保安庁へ直ちに連絡しましょう。



エンジンカッター
円盤状のブレード(刃)を高速回転させ、金属やコンクリートを切断します

救助工作車

火災、交通事故、労災事故等あらゆる災害に対応するために大小200種類を超える救助資機材が積載されています。



消防団員 大切なまちを一緒に守りませんか?

サラリーマン、公務員、主婦、学生...男女を問わずさまざまな職種の方が消防団員として活躍しています。消防団員は、消防隊員と協力して消火活動を行ったり、大規模災害時の避難活動や地域に密着した予防活動などを行っています。あなたも地域の防災リーダーとして活動してみませんか。※制帽、靴等は貸与します。

- 応募資格
- 市内に在住、在勤又は在学する18歳以上の者で、消防防災に関心のある者
 - 火災防衛訓練、消防団の救助訓練およびポンプ操法等の訓練に参加できること



お問い合わせ 消防局 警防課 TEL 867-0911 FAX 869-1190